

西中だより

平成28年度 No.12
平成28年 8月31日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 夏休み中も頑張った西中生の姿 &&&<敬称略>

- 8月4日(木)須賀川市文化センター・大ホールで行われた第13回少年の主張大会で佐藤ひかる(3の2)さんが、優良賞を受賞しました。とても素晴らしい発表でした。
- 多くの生徒が東北大会出場を果たしました。陸上(秋田市)では、男子共通800mで名越敬冬(3の3)君、男子砲丸投げで倉田健太郎(3の2)君、女子砲丸投げで村越桜佳(3の1)さんが、出場しました。また、卓球の個人(奥羽市)に相楽 将(2の2)君が出場しました。残念ながら、それぞれ入賞は逃しましたが、大きな成長に繋がったと顧問の先生から話がありました。
- 新チームの野球部が東北新人野球大会須賀川地区予選で3位に入賞しました。その後、那須オオシマフォーラム野球大会で準優勝に輝きました。毎日の苦しい練習の成果が実ったようです。
- 8月18日(木)に須賀川市文化センターで行われた岩瀬地区合唱祭で、特設合唱部がみごと金賞を受賞しました。残念ながら、県大会への出場権は逃しましたが、生徒達は合唱を通して多くのものを学んでくれました。
- 9月1日(木)の支部駅伝競走大会に向けて、特設駅伝部は夏休みの間も朝早くから厳しい練習に励んでいました。今年も休みの前半は猛暑が続き、先生方は生徒が熱中症にならないように注意しながら指導に励んでくれました。これまでご支援・ご協力をいただきましたご家庭には心から感謝申し上げます。台風10号の影響が心配ですが、子ども達は必ず実力を発揮してくれるものと期待しています。

÷×÷ 2学期生徒に望むこと ÷×÷

- 生徒達に望むことは、次の3点です。その1「1学期と夏休みに身に付けた力を、2学期に発揮してほしい。」その2「文化祭を一つの目標として、自分たちで考え、行動する力を伸ばしてほしい。」その3「学習や部活動で身に付けた力に工夫を加えて、自分なりのオリジナルを身に付けてほしい。」などです。先週から2学期が始まりましたが、生活習慣や学習習慣を早く取り戻すことが大切です。そのためには、規則正しい生活を実行しましょう。

学校の安全・安心(枯れた樹木の伐採)

- 夏休み中に、枯れた樹木(松・桜)を市教育委員会に伐採してもらいましたので、お知らせします。



《 校長のつぶやき 》・・・心を一つにして歌った岩瀬地区合唱祭・・・

- 8月18日(木)須賀川市文化センターで開催された平成28年度岩瀬地区小・中学校音楽祭第1部(合唱)において、本校の特設合唱部(吹奏楽部中心に編制)はみごと「金賞」を獲得しました。残念ながら県大会への出場は逃しましたが、これまで練習を見守って来た者の一人として、今までの努力とここまでの成長を心から称えたいと思います。振り返れば、中体連の大会が終了してから希望する3年生を加えて本格的に練習が始まったのが、夏休みに入ってからでした。加えて、今年は顧問の佐藤先生の出張と研修が多く重なり、時間的にも厳しい練習になりました。しかし、生徒達は夏の暑さにも負けず、練習のある日は毎日時間通りに登校し、集中して練習に取り組んでいました。私が感心させられたのは、吹奏楽部の部員が毎朝、進んで廊下や階段を清掃していたことです。素晴らしい成果を残した陰には、心を磨く奉仕の活動が必ずあるものですね。
- 講評では審査委員の佐藤恵一様(清陵情報高校校長)からは、全体的に素晴らしい歌声で、レベルの高さを感じました。合唱は「自分の思いを言葉に乗せて相手に伝えるものです」「言葉に込められた思いを大切にしてください」、課題として「どんな声で歌えばいいのか」「どう思いを伝えたらいいのか」「ただ楽譜の通りに歌うだけでは駄目です」など、今後活かせる話をされました。次のコンクールに向けて、生徒一人一人が内面的にも成長して、心を一つに素晴らしい歌声を響かせてくれることを期待します。結びに、これまでご支援・ご協力をいただきました関係者とご家族の皆様に感謝を申し上げます。

